

注3

大学番号：私276

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

大阪経済法科大学 国際学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大阪経済法律学園
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

事務局長補佐兼教務課長

フジワラ ヒロキ
藤原 弘樹

電話番号 072-941-8211

(夜間) 072-920-7062

FAX 072-943-6766

e-mail fujiwara@keiho-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際学部

| <国際学科> | ページ |
|-------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| 2. 授業科目の概要 | 5 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 12 |
| 4. 既設大学等の状況 | 13 |
| 5. 教員組織の状況 | 14 |
| 6. 留意事項等に対する履行状況等 | 30 |
| 7. その他全般的事項 | 31 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 大阪経済法律学園

(2) 大学名

大阪経済法科大学

(3) 大学の位置

花岡キャンパス

〒581-8511

大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地

八尾駅前キャンパス

〒581-8522

大阪府八尾市北本町2丁目10番45号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|--------------------------------------|------|----|
| 理事長 | (カナザワ シュンコウ) 金澤 俊孝 (平成7年3月25日) | | |
| 学長 | (フジモト ワキオ) 藤本 和貴夫 (平成17年4月1日) | | |
| 学部長 | (タバタ リイチ) 田畑 理一 (平成28年4月1日) | | |
| 学科長等 | | | |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

| 調査対象学部等の名称(学位) | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|-----------------------------|--------|------|-----------|------|----|
| | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| 国際学部 国際学科 学士(国際学) | 4年 | 140人 | 年次 - 人 | 560人 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 対象年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 平成31年度 | | 平均入学定員 超過率 | 備考 |
|----------------|--------------------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 140 (-) [20] | 人 人 | 人 人 | 人 人 | 人 人 | 人 人 | 人 人 | 人 人 | 人 人 | 人 人 | 1.04倍 ※志願者数には, 第二志望合格者は含まない。 ※第二志望合格者を含む志願者数は1,442名(内留学生70名)である。 | |
| 志願者数 | 1,440 (-) [68] | - (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | | |
| 受験者数 | 1,032 (-) [70] | - (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | | |
| 合格者数 | 635 (-) [70] | - (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | | |
| B 入学者数 | 146 (-) [62] | - (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | (-) (-) [-] | | |
| 入学定員超過率 B/A | 1.04 | | - | | - | | - | | - | | | |

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学 年 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 平成31年度 | | 備 考 |
|-----|----------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | [62] (-) 146 | [] () | [] () | [] () | [] () | [] () | [] () | [] () | |
| 2年次 | / | | [] () | [] () | [] () | [] () | [] () | [] () | |
| 3年次 | / | | / | | [] () | [] () | [] () | [] () | |
| 4年次 | / | | / | | / | | [] () | [] () | |
| 計 | [62] (-) 146 | [] () | [] () | [] () | [] () | [] () | [] () | [] () | |

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) | | | 主な退学理由 | 入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|------|-----------------|--------|----------------------------------|
| | | | 退学した年度 | 退学者数 | 退学者数の うち留学生数 | | |
| 平成28年度 入学者 | 146 人 | 0 人 | 平成28年度 | 人 | 人 | | 0 % |
| | | | 平成29年度 | 人 | 人 | | |
| | | | 平成30年度 | 人 | 人 | | |
| | | | 平成31年度 | 人 | 人 | | |
| 平成29年度 入学者 | 人 | 人 | 平成29年度 | 人 | 人 | | % |
| | | | 平成30年度 | 人 | 人 | | |
| | | | 平成31年度 | 人 | 人 | | |
| 平成30年度 入学者 | 人 | 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | | % |
| | | | 平成31年度 | 人 | 人 | | |
| 平成31年度 入学者 | 人 | 人 | 平成31年度 | 人 | 人 | | % |
| 合 計 | 146 人 | 0 人 | | | | | 0 % |

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<国際学部 国際学科>

(1) 授業科目表

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|-----------|---------------|----------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----------|--------------------------|-------------------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 共通教育科目 | 文章表現入門 | 1前 | | 2 | | | | | | | 兼9 兼7 | 兼任教員の新規採用により、担当者を追加(28) |
| | 基礎体育A | 1前 | | 1 | | | | | | | 兼4 兼3 | 兼任教員の新規採用により、担当者を変更・追加(28) |
| | 基礎体育B | 1後 | | 1 | | | | | | | 兼4 兼3 | 兼任教員の新規採用により、担当者を変更・追加(28) |
| | 哲学 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 時間割編成上の理由により、科目担当者を変更(28) |
| | 日本史 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼2 兼1 | 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| | 日本近現代史 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 西洋史 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 考古学 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 文化人類学 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 文学 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼2 | |
| | 言語学 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 教育学 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 心理学 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼2 | |
| | 日本国憲法 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 法学 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 政治学 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 経済学 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 時間割編成上の理由により、科目担当者を変更(28) |
| | 地理学 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(28) |
| | 社会学 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 日本事情入門 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 現代日本事情 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼2 兼1 | 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| | 化学と生活 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 統計学Ⅰ | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 統計学Ⅱ | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 情報システム論 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 兼任教員の新規採用により、科目担当者を変更(28) |
| | ソフトウェア論 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | ネットワーク論 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | ワープロ実践 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 表計算実践 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | データベース実践 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | デジタルプレゼンテーション | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 表計算応用 | 2・3・4後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | プログラミング実践 | 2・3・4前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 情報科学演習 | 2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 環境論 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼2 | オムニバス |
| | 環境フィールドスタディⅠ | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 環境フィールドスタディⅡ | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 平和学 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼3 | オムニバス |
| | マスコミ論 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼2 兼1 | 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| | 地域文化論 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼2 兼1 | 履修者数に応じてクラス数を増加(28) |
| | 芸術学 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 河内学 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼6 | オムニバス |
| 現代社会学 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 現代社会と人権 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 現代社会と教育 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 現代社会と健康 | 1・2・3・4休 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 集中 | |
| 現代社会と日本語 | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 現代社会とビジネス | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼2 | オムニバス | |
| 現代社会と観光 | 1・2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼3 兼4 | 時間割編成の理由により、科目担当者を変更(28) | |
| 現代社会とメディア | 1・2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 人権の諸問題 | 2・3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 隔年開講 | |
| 海運と港湾 | 2・3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |

共通教育科目

| | | | | | | | | | | |
|-------------------------|----------|---|-----|---|---|---|---|--|------------|-----------------------------------|
| 日本の水産業と世界の水産業 | 2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 地球と環境 | 2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 環境と経営 | 2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 環境と社会 | 2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 環境と海洋 | 2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 環境と生態 | 2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 環境保全論 | 2・3・4休 | 2 | | | | | | | 兼2 | 集中、オムニバス |
| 環境演習A | 2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 環境演習B | 2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| ビジネスリテラシー | 2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 総合演習a | 2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼4 兼3 | 兼任教員新規採用により、科目担当者を追加(28) |
| 総合演習b | 2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼4 兼3 | 兼任教員新規採用により、科目担当者を追加(28) |
| フランス語 I | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| フランス語 II | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 中国語 I | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 中国語 II | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 韓国語 I | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼2 | |
| 韓国語 II | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| ロシア語 I | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| ロシア語 II | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 日本語 I | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼5 兼3 | 履修者数に応じてクラス数を追加し、担当者を追加(28) |
| 日本語 II | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼8 兼4 | 履修者数に応じてクラス数を追加し、担当者を変更・追加(28) |
| 中国語総合演習A | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 中国語総合演習B | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| ロシア語総合演習A | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| ロシア語総合演習B | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 日本語総合演習A | 1・2・3・4前 | 2 | | | | 1 | | | 兼2 | 時間割編成の理由により、担当者を変更(28) |
| 日本語総合演習B | 1・2・3・4後 | 2 | | | | 1 | | | 兼3 | 時間割編成の理由により、担当者を変更(28) |
| 中国語会話 | 1・2・3・4前 | 1 | | | | | | | 兼1 | |
| 韓国語会話 | 1・2・3・4後 | 1 | | | | | | | 兼1 | |
| 日本語会話 | 1・2・3・4後 | 1 | | | | | 1 | | 兼5 兼3 | 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 日本語表現 | 1・2・3・4後 | 1 | | | | | | | 兼6 兼2 | 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を変更・追加(28)) |
| 中国語コミュニケーション演習 | 2・3・4前 | 4 | | | | | | | 兼1 | |
| 韓国語コミュニケーション演習 | 2・3・4前 | 4 | | | | | | | 兼1 | |
| 健康科学論 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 心とからだの病理学 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 身体運動科学 | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| スポーツ論 | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 生涯スポーツA | 1・2・3・4前 | 1 | | | | | | | 兼6 兼5 | 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 生涯スポーツB | 1・2・3・4後 | 1 | | | | | | | 兼6 兼5 | 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| フィットネス実習A | 1・2・3・4前 | 1 | | | | | | | 兼2 | |
| フィットネス実習B | 1・2・3・4後 | 1 | | | | | | | 兼2 | |
| トレーニング演習A | 1・2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼2 | |
| トレーニング演習B | 1・2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼2 | |
| 身体管理論 | 2・3・4後 | 2 | | | | | | | 兼2 兼1 | 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| スポーツ指導論 | 2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼2 兼1 | 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| スポーツ管理論 | 2・3・4前 | 2 | | | | | | | 兼2 兼1 | 履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 小計(99科目) | - | 0 | 192 | 0 | 1 | 1 | | | 兼59 兼54 | |
| 異文化理解 | 1前 | 2 | | | | 1 | | | 兼1 | オムニバス 履修者数に応じてクラス数を増加(28) |
| 日本史概論 I | 1前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 日本史概論 II | 1後 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 世界史概論 I | 1前 | 2 | | | | 1 | | | 兼1 | オムニバス |
| 世界史概論 II | 1後 | 2 | | | | 1 | | | 兼1 | オムニバス |
| 国際社会と法 | 1後 | 2 | | | | | 1 | | 兼1 | |
| 市民社会と法 | 1前 | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| Intensive English W/R I | 1前 | 2 | | | | | 1 | | 兼4 兼3 | 教育充実のため、クラス数を増加し、担当者を変更・追加(28) |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------------------------|------|---|----|----|--------|---|---|--------|----------|------------------------------------|--|
| 専門基礎科目 | Intensive English W/R II | 1後 | 2 | | 1 | | | | | 兼4 兼3 | 教育充実のため、クラス数を増加し、担当 者を変更・追加(28) | |
| | Intensive English L/S I | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | 兼4 兼3 | 教育充実のため、クラス数を増加(28) | |
| | Intensive English L/S II | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | 兼4 兼3 | 教育充実のため、クラス数を増加(28) | |
| | Exam Prep. I | 1前 | | 2 | | 1 | | | | 兼1 | 教育充実のため、クラス数を増加し、科目 担当者を追加(28) | |
| | Exam Prep. II | 1後 | | 2 | | 1 | | | | 兼1 | 教育充実のため、クラス数を増加し、科目 担当者を追加(28) | |
| | 情報リテラシー I | 1前 | | 2 | | 2 | | | | 兼1 | | |
| | 情報リテラシー II | 1後 | | 2 | | 2 | | | | 兼1 | | |
| | メディアリテラシー | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | コミュニケーション論 | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | ミクロ経済学 I | 1前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | マクロ経済学 I | 1後 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | 経営学概論 | 1前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 国際ビジネス概論 | 1後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 小計(21科目) | - | | 8 | 34 | 0 | 6 | 4 | 0 | 1 | 0 | 兼12 兼16 |
| 国際理解科目群 | 日本文化論 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 比較文化論 | 2後 | | 2 | | 1 | | | 1 | | 兼1 | オムニバス |
| | 多文化共生社会論 | 3・4前 | | 2 | | | 1 | | ± | | 兼2 | オムニバス 梶村美紀准教授、昇格による職位変更 (28) |
| | Japanese Culture | 2後 | | 2 | | | | | 1 | | | 集中 |
| | Japanese History | 2休 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 集中 |
| | Japanese Society | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | Japanese Geography | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | Japanese Law and Society | 3・4前 | | 2 | | 1 | | ± | | | | グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授、 昇格による職位変更(28) |
| | Comparative Culture | 3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | Comparative Legal System | 3・4後 | | 2 | | 1 | | ± | | | | グリーン・スティーブン・ブラッドリー教授、 昇格による職位変更(28) |
| | ジェンダー論 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 宗教学 | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 社会思想史 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | アジア史 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | アメリカ史 | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | ヨーロッパ史 | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 現代中国事情 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 現代東南アジア事情 | 3・4前 | | 2 | | | 1 | | ± | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更 (28) |
| | 現代オセアニア事情 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 現代アメリカ事情 | 3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 現代ヨーロッパ事情 | 3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 現代中東事情 | 3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | Regional Studies (Asia) | 3・4休 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 集中 |
| | Regional Studies (Oceania) | 3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | Regional Studies (America) | 3・4休 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 集中 |
| | Regional Studies (Europe) | 3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 国際関係論 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 国際協力法 | 3・4前 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 国際人権法 | 3・4後 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 国際社会と人の移動 | 2後 | | 2 | | | 1 | | ± | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更 (28) |
| | 政治地理学 | 3・4後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | NPO・NGO論 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 地方自治と国際協力 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 国際機構論 | 3・4後 | | 2 | | | 1 | | | | | | |
| 比較税制論 | 3・4前 | | 2 | | 1 | | | | | | | |
| 社会保障の国際比較 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 都市計画の国際比較 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 資源・エネルギー論 | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 小計(38科目) | - | | 0 | 76 | 0 | 3 2 | 2 | 0 | 1 2 | 0 | 兼20 | |

専門教育科目

専門発展科目

コミュニケーション科目群

| | | | | | | | | | | |
|------------------------------|------|---|----|---|--------|--------|---|---|---------------------------------------|-----|
| Advanced English W/R I | 2前 | 2 | | 1 | | | | | 兼3 | |
| Advanced English W/R II | 2後 | 2 | | 1 | | | | | 兼3 | |
| Advanced English L/S I | 2前 | 2 | | | 1 | | 1 | | 兼3 | |
| Advanced English L/S II | 2後 | 2 | | | 1 | | 1 | | 兼3 | |
| Academic Writing I | 3・4前 | | 2 | | | | | 1 | | |
| Academic Writing II | 3・4後 | | 2 | | | | | 1 | | |
| Business Communication I | 3・4前 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| Business Communication II | 3・4後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| Exam Prep. III | 2前 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| Exam Prep. IV | 2後 | | 2 | | | | 1 | | | |
| Comprehensive English I | 3・4前 | | 2 | | 1 | ± | | | グリーン・ステイブン・ブラッドリー教授、 昇格による職位変更(28) | |
| Comprehensive English II | 3・4後 | | 2 | | 1 | ± | | | グリーン・ステイブン・ブラッドリー教授、 昇格による職位変更(28) | |
| Current Affairs | 3・4前 | | 2 | | 1 | ± | | | グリーン・ステイブン・ブラッドリー教授、 昇格による職位変更(28) | |
| 翻訳実践 | 3・4前 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| 観光英語 | 3・4前 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| 貿易英語 | 3・4後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| 日本語文章表現 I | 2前 | | 2 | | | 1 | | | 兼1 | |
| 日本語文章表現 II | 2後 | | 2 | | | 1 | | | 兼1 | |
| 日本語コミュニケーション技法 I | 2前 | | 2 | | | 1 | | | 兼1 | |
| 日本語コミュニケーション技法 II | 2後 | | 2 | | | 1 | | | 兼1 | |
| アカデミックライティング | 3・4前 | | 2 | | | 1 | | | | |
| テクニカルライティング | 3・4後 | | 2 | | | 1 | | | | |
| 情報セキュリティ論 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| ビジネスアプリケーション | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| クラウド活用実践 | 3・4後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| データマイニング | 3・4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| Webデザイン実践 | 3・4後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| メディア論 | 2前 | | 2 | | | | 1 | | | |
| グローバル化とメディア | 2後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| ソーシャルメディア論 | 3・4前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| メディアと広告 | 3・4前 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| ジャーナリズム論 | 3・4後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| ことばと文化 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| 社会心理学 | 2前 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| 異文化コミュニケーション | 2後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| プレゼンテーション実践 | 3・4前 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| ディベート実践 | 3・4後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| ビジネス交渉 | 3・4後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| 小計(38科目) | - | 8 | 68 | 0 | 5 4 | 3 4 | 0 | 1 | 0 | 兼15 |
| 経済系科目 | | | | | | | | | | |
| マイクロ経済学II | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| マクロ経済学II | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| 経済政策概論 | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| 国際経済学概論 | 2後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| 国際金融概論 | 2後 | | 2 | | | 1 | | | | |
| 比較経済論 | 2前 | | 2 | | 1 | | | | | |
| Japanese Economy | 3・4前 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| 中国経済論 | 3・4前 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| 東南アジア経済論 | 3・4後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| アメリカ経済論 | 3・4後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| ヨーロッパ経済論 | 3・4後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| ロシア経済論 | 3・4後 | | 2 | | 1 | | | | | |
| 航空経済論 | 3・4前 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| Contemporary Economic Issues | 3・4後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------|-----------------------------|------|-----|---|--------|--------|---|--------|---|--|----|-------------|-----------------------|--|
| 国際 ビジ ネス 関 連 科 目 群 | 経営系 科目 | 経営管理概論 | 2前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | 科目担当者が退職。未開講の科目であるため、開講年度までに科目担当者を決定する(28) |
| | | 経営戦略論 | 2後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | Business Management | 3・4後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 会計学概論 | 2前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 税法 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 国際会計論 | 3・4後 | | 2 | | | | | | | | 1 | 兼1 | |
| | | 経営情報概論 | 3・4後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | マーケティング論 | 2前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 流通システム論 | 2後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | ビジネス統計 | 2後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 国際経営論 | 2後 | | 2 | | | | | | | | 1 | 兼1 | |
| | | 外国為替論 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | | 1 | 兼1 | |
| | | 貿易商務論 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 貿易金融論 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | | 1 | 兼1 | |
| 関 連 科 目 | 経営系 科目 | 国際取引と法(契約と決済) | 3・4前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 国際取引と法(紛争処理) | 3・4後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 国際ビジネスと知的財産 | 3・4後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 観光概論 | 2前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 観光資源論 | 2後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 国際観光論 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 航空実務 | 3・4後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | クルーズ・ビジネス論 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | ホスピタリティ論 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | Tourism and World Heritages | 3・4後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| 医療ビジネス論 | 3・4前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | | | |
| 小計(39科目) | | - | 0 | 78 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | | | 兼19 兼21 | | |
| 演 習 科 目 | 経営系 科目 | 基礎演習A | 1前 | 2 | | 2 | 6 5 | | ± | | | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28) | |
| | | 基礎演習B | 1後 | 2 | | 2 | 6 5 | | ± | | | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28) | |
| | | 専門演習IA | 2前 | | 2 | 2 | 6 5 | | ± | | | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28) | |
| | | 専門演習IB | 2後 | | 2 | 2 | 6 5 | | ± | | | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28) | |
| | | 専門演習IIA | 3前 | | 2 | 4 | 4 3 | | ± | | | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28) | |
| | | 専門演習IIB | 3後 | | 2 | 4 | 4 3 | | ± | | | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28) | |
| | | 専門演習IIIA | 4前 | | 2 | 4 | 4 3 | | ± | | | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28) | |
| | | 専門演習IIIB | 4後 | | 2 | 4 | 4 3 | | ± | | | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28) | |
| 小計(8科目) | | - | 4 | 12 | 0 | 5 | 6 5 | | ± 0 | | | | | | |
| 留 学 ・ 体 験 科 目 | 経営系 科目 | 海外語学研修 | 1休 | | 2 | 1 | 1 | | 1 | | | | | | |
| | | フィールド・プロジェクトI | 1休 | | 2 | 1 | 3 2 | | ± | | | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28) | |
| | | フィールド・プロジェクトII | 2・3休 | | 2 | 1 | 3 2 | | ± | | | | | 梶村美紀准教授、昇格による職位変更(28) | |
| 小計(3科目) | | - | 0 | 6 | 0 | 2 | 4 3 | | ± 1 | | | | | | |
| キ ャ リ ア 形 成 科 目 | 経営系 科目 | 国際キャリア開発A | 1前 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 国際キャリア開発B | 1後 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 国際キャリアデザイン演習A | 2前 | | 2 | | | | | | | | | 兼3 | |
| | | 国際キャリアデザイン演習B | 2後 | | 2 | | | | | | | | | 兼3 | |
| | | 国際キャリア演習A | 3前 | | 2 | | | | | | | | | 兼3 | |
| | | 国際キャリア演習B | 3後 | | 2 | | | | | | | | | 兼3 | |
| | | インターンシップ | 2・3休 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 海外インターンシップ | 2・3休 | | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| 小計(8科目) | | - | 0 | 16 | 0 | | | | | | | | 兼6 | | |
| 小計(254科目) | | - | 20 | 482 | 0 | 9 8 | 6 | 0 | 1 2 | 0 | | | 兼104 兼96 | | |

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|-----|----|-----|-------|-------|-------|-------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | |
| 10 | 244 | 0 | 254 | 10 | 244 | 0 | 254 | |
| | | | | [0] | [0] | [0] | [0] | |

- (注)
- ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 - ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|-----------------|
| 1 | - | - | - | - | - | - |
| 2 | - | - | - | - | - | - |
| 3 | - | - | - | - | - | - |

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | - | - | - | - | - | - |
| 2 | - | - | - | - | - | - |
| 3 | - | - | - | - | - | - |

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

-

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備考 | | | |
|---------------------|-----------|---|--------------------------------|--------------------------------|------------------|--------------------------------------|----------------------|---|---------------------------|
| (1) 校地等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の学校等の専用 | 計 | | | | |
| | 校舎敷地 | 64,582.3㎡ | ㎡ | ㎡ | 64,582.3㎡ | | | | |
| | 運動場用地 | 19,956.5㎡ | ㎡ | ㎡ | 19,956.5㎡ | | | | |
| | 小 計 | 84,538.8㎡ | ㎡ | ㎡ | 84,538.8㎡ | | | | |
| | そ の 他 | 301,888.8㎡ | ㎡ | ㎡ | 301,888.8㎡ | | | | |
| | 合 計 | 386,427.6㎡ | ㎡ | ㎡ | 386,427.6㎡ | | | | |
| (2) 校舎 | | 専 用 (34,765.7㎡) | 共 用 (㎡) | 共用する他の学校等の専用 (㎡) | 計 (34,765.7㎡) | | | | |
| (3) 教室等 | 講義室 | 演習室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | 大学全体 国際学部で使用する教室数を記載(28) | | | |
| | 28 29室 | 34 35室 | 3室 | 4室 (補助職員 人) | 20室 (補助職員 人) | | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | | 室 数 | | | | | |
| | 国際学部国際学科 | | | 16 室 | | | | | |
| (5) 図書・設備 | 新設学部等の名称 | 図 書 〔うち外国書〕 冊 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 種 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標 本 点 | 大学全体での共用分 (完成年度) 図書345,366冊 〔75,204冊〕 学術雑誌2,355種 視聴覚資料542点 申請後の図書受入による増冊(28) 機械・器具の購入による増加(28) | |
| | 国際学部国際学科 | 345,366〔75,204〕 (339,121〔74,835〕) (335,686〔74,644〕) | 119〔5〕 (124〔8〕) (119〔5〕) | 2,236〔2,236〕 (2,236〔2,236〕) | 542 (542) | 8,038 7,680 (8,038) (7,680) | () | | |
| | 計 | 345,366〔75,204〕 (339,121〔74,835〕) (335,686〔74,644〕) | 119〔5〕 (124〔8〕) (119〔5〕) | 2,236〔2,236〕 (2,236〔2,236〕) | 542 (542) | 8,038 7,680 (8,038) (7,680) | () | | |
| (6) 図書館 | 面 積 | | 閲覧座席数 | | 収納可能冊数 | | レイアウト変更による閲覧座席数減(28) | | |
| | 4,410.0㎡ | | 469 473 | | 428,000冊 | | | | |
| (7) 体育館 | 面 積 | | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | | | | |
| | 8,048.7㎡ | | テニスコート2面 弓道場1面、アーチェリー場1面 | | | | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | 経費見積りの繰上計算と実際の支払額との差異(28) |
| | | 教員1人当り研究費等 | 508千円 | 508千円 | 図書購入費 | 2,017千円 2,153千円 | 1,000千円 | 1,000千円 | |
| | | 共同研究費等 | 541千円 | 541千円 | 設備購入費 | 18,556千円 18,569千円 | 1,000千円 | 1,000千円 | |
| | 学生1人当り納付金 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | | |
| | | 1,196千円 | 1,016千円 | 1,036千円 | 1,056千円 | 一千円 | 一千円 | | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | | 私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | | 大阪経済法科大学大学院 | | | | | | | 備考 |
|-----------------------|------|-------------|-------|-------|---------|--------------|--------|--|----------------------------|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均定員超過率 | 開年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| 経済学研究科 経済学専攻（修士課程） | 2 | 20 | - | 40 | 修士（経済学） | 1.07 1.07 | 平成27年度 | 大阪府八尾市北本町2丁目10番45号 | AC対象は、大学院経済学研究科経済学専攻（修士課程） |
| 大学の名称 | | 大阪経済法科大学 | | | | | | | 備考 |
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均定員超過率 | 開年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| 経済学部 経済学科 | 4 | 160 | - | 800 | 学士（経済学） | 1.16 1.13 | 昭和46年度 | 大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地 大阪府八尾市北本町2丁目10番45号 | AC対象は、経済学部経営学科及び国際学部国際学科 |
| 経営学科 | 4 | 160 | - | 480 | 学士（経営学） | 1.25 | 平成26年度 | 同上 | |
| 法学部 法律学科 | 4 | 260 | - | 1,040 | 学士（法学） | 1.06 1.06 | 昭和46年度 | 同上 | |
| 国際学部 国際学科 | 4 | 140 | - | 140 | 学士（国際学） | 1.04 1.04 | 平成28年度 | 同上 | |
| | | | | | | | | | |

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教員組織の状況
 <国際学部国際学科>
 (1) 教員担当表

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|----|----------|---------|--|------------|----|----|--------|---------|----|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 専 | 教授 | 華立(65) | 平成28年4月 | 世界史概論Ⅰ※ 世界史概論Ⅱ※ 比較文化論※ アジア史 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB | | | | | | |
| 専 | 教授 | 宋南先(63) | 平成28年4月 | Intensive English W/R I Intensive English W/R II コミュニケーション論 Advanced English W/R I Advanced English W/R II ことばと文化 海外語学研修 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 田畑理一(67) | 平成28年4月 | 国際経済学概論 比較経済論 ロシア経済論 | | | | | | |
| 専 | 教授 | 伍躍(57) | 平成28年4月 | 比較税制論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB フィールド・プロジェクトⅠ フィールド・プロジェクトⅡ | | | | | | |
| 専 | 教授 | 中井英雄(65) | 平成28年4月 | ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 経済政策概論 ヨーロッパ経済論 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB | | | | | | |
| 専 | 教授 | 呉志賢(41) | 平成28年4月 | 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ データマイニング 経営情報概論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB | | | | | | |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|-----|------------------------------|---------|---|------------|-----|----|--------|---------|--------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 専 | 教授 | 岩見(長坂)真希(38) | 平成28年4月 | 情報リテラシー I 情報リテラシー II 情報セキュリティ論 ビジネスアプリケーション クラウド活用実践 ネットワーク論 表計算実践 表計算応用 プログラミング実践 | | | | | | |
| 専 | 教授 | ルベ エマニュエル(58) | 平成28年4月 | 異文化理解※ Webデザイン実践 ソーシャルメディア論 専門演習 II A 専門演習 II B 専門演習 III A 専門演習 III B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 高砂 謙二(45) | 平成28年4月 | 国際ビジネス概論 国際金融概論 国際経営論 外国為替論 貿易金融論 基礎演習 A 基礎演習 B 専門演習 I A 専門演習 I B 専門演習 II A 専門演習 II B 専門演習 III A 専門演習 III B | | | | | | |
| 専 | 准教授 | ウェサ ^o ビ マーティン(53) | 平成28年4月 | Intensive English L/S I Intensive English L/S II Exam Prep. I Exam Prep. II Advanced English L/S I Advanced English L/S II 基礎演習 A 基礎演習 B 専門演習 I A 専門演習 I B 海外語学研修 | | | | | | |
| 専 | 准教授 | グリーン スティープン ブラッドリー(52) | 平成28年4月 | Japanese Law and Society Comparative Legal System Comprehensive English I Comprehensive English II Current Affairs | | 准教授 | | | | 平成28年1月 教員審査済 (28) |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|-----|---------------------------|---------|--|------------|----|----|--------|---------|----|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 専 | 准教授 | 菅原 絵美 (35) | 平成28年4月 | 国際社会と法 国際協力法 国際人権法 国際機構論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習 I A 専門演習 I B 専門演習 II A 専門演習 II B 専門演習 III A 専門演習 III B フィールド・プロジェクト I フィールド・プロジェクト II | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 赤城 永里子 (35) | 平成28年4月 | 日本語文章表現 I 日本語文章表現 II 日本語コミュニケーション技法 I 日本語コミュニケーション技法 II アカデミックライティング テクニカルライティング 基礎演習A 基礎演習B 専門演習 I A 専門演習 I B フィールド・プロジェクト I フィールド・プロジェクト II 日本語総合演習A 日本語総合演習B 日本語会話 | | | | | | |
| 専 | 准教授 | 三井 愛子 (44) | 平成28年4月 | メディアリテラシー メディア論 基礎演習A 基礎演習B 専門演習 I A 専門演習 I B 専門演習 II A 専門演習 II B 専門演習 III A 専門演習 III B | | | | | | |
| 専 | 助教 | ミルス' ジョナサン チャールズ' (43) | 平成28年4月 | 異文化理解※ Intensive English L/S I Intensive English L/S II 比較文化論※ Japanese Culture Advanced English L/S I Advanced English L/S II Academic Writing I Academic Writing II Exam Prep. IV 海外語学研修 | | | | | | |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|----|---------------|---------|---|------------|-----|-----------|---------|---------|--|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 専 | 助教 | 梶村 美紀(51) | 平成28年4月 | 多文化共生社会論※ 現代東南アジア事情 国際社会と人の移動 基礎演習A 基礎演習B 専門演習ⅠA 専門演習ⅠB 専門演習ⅡA 専門演習ⅡB 専門演習ⅢA 専門演習ⅢB フィールド・プロジェクトⅠ フィールド・プロジェクトⅡ | | | | | | 平成28年1月 教員審査済 (28) |
| 兼任 | 教授 | 長沼 進一(70) | 平成30年4月 | 航空経済論 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | グスタボ バルダス(56) | 平成30年4月 | Japanese Economy Contemporary Economic Issues | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 深瀬 澄(56) | 平成28年4月 | ビジネス統計 インターンシップ | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 澤野 義一(64) | 平成28年4月 | 平和学※ | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 金 泰明(64) | 平成28年4月 | 哲学 現代社会と人権 人権の諸問題【隔年】 異文化理解※ | 兼任 | 准教授 | 渡邊 浩一(35) | 平成28年4月 | 哲学 | 平成28年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を変更(28) |
| 兼任 | 教授 | 田中 嗣久(62) | 平成28年4月 | 法学 市民社会と法 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 多胡 圭一(74) | 平成28年4月 | 政治学 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 矢野 哲也(56) | 平成28年4月 | 平和学※ | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 西脇 邦雄(61) | 平成28年4月 | 地方自治と国際協力 現代社会とビジネス※ | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 浅見 緑(56) | 平成28年4月 | 文章表現入門 文学 河内学※ 現代社会と日本語 | | | | | | |
| 兼任 | 教授 | 森榮 徹(64) | 平成28年4月 | 現代社会と観光※ 現代社会とメディア 日本語文章表現Ⅰ 日本語文章表現Ⅱ ジャーナリズム論 観光概論 観光資源論 文章表現入門 | | | | | | |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|-----|------------------|---------|--|------------|-----|-----------|---------|----------|--|
| 専任・兼担・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼担・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 兼担 | 教授 | 吉田 廣(61) | 平成28年4月 | 文章表現入門 | 兼担 兼任 | | | | | 平成28年4月 教養部専任教員退職。兼任 委嘱(28) |
| 兼担 | 教授 | 加納(松浦)義彦 (63) | 平成28年4月 | 環境論※ 環境フィールドスタディⅠ 環境フィールドスタディⅡ 河内学※ 環境と社会 環境と生態 環境保全論※ 環境演習A 環境演習B | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 金 成秀(62) | 平成28年4月 | 平和学※ 現代社会と観光※ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 韓国語Ⅰ | 兼任 | 講師 | 仲本 早紀(26) | 平成28年4月 | 日本語総合演習A | 平成28年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を変更(28) |
| | | | | 日本語総合演習B | | | | | 日本語総合演習A | |
| | | | | 韓国語コミュニケーション演習 | | | | | 日本語総合演習B | |
| 兼担 | 教授 | 鈴木 清稔(59) | 平成28年4月 | 教育学 | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 文本 陽雲(64) | 平成28年4月 | 化学と生活 | 兼担 | 准教授 | 崔 舜星(39) | 平成28年4月 | 情報システム論 | 平成28年4月 兼任教員採用により、科目担当者を変更(28) |
| | | | | ワープロ実践 データベース実践 デジタルプレゼンテーション | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 山木 和(64) | 平成29年4月 | 情報科学演習 | | | | | | |
| 兼担 | 講師 | 松下 幸史朗(36) | 平成29年4月 | 経営戦略論 | | | 後任未定 | | | 平成28年4月 科目担当教員が退職。後任は科目開設年度である平成29年度開始までに決定する(28) |
| 兼担 | 准教授 | 高橋 慎二(42) | 平成28年4月 | 現代社会とビジネス※ | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 中嶋美樹子(43) | 平成30年4月 | 税法 | | | 後任未定 | | | 平成28年4月 科目担当教員が退職。後任は科目開設年度である平成30年度開始までに決定する(28) |
| 兼担 | 准教授 | 引地夏奈子(39) | 平成30年4月 | 国際会計論 | | | | | | |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|-----|------------|---------|---|------------|-----------|-----------|---------|---------|--|
| 専任・兼担・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼担・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 兼担 | 准教授 | 杉山 裕(42) | 平成28年4月 | 経済学 | 兼担 | 教授 | 井上 勝雄(72) | 平成28年4月 | 経済学 | 平成28年4月 時間割編成上の理由により、 科目担当者を変更(28) |
| 兼担 | 准教授 | 山根 陽一(37) | 平成29年4月 | 会计学概論 | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 吉川 真理子(55) | 平成30年4月 | 現代オセアニア事情 観光英語 Tourism and World Heritages | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 宮崎 裕(46) | 平成28年4月 | 情報リテラシー I 情報リテラシー II ソフトウェア論 | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 呉 紅敏(43) | 平成28年4月 | 社会保障の国際比較 日本事情入門 現代日本事情 | | 准教授 教授 | | | | 平成28年4月 教授昇格(28) |
| 兼担 | 准教授 | 中川 康弘(43) | 平成28年4月 | 多文化共生社会論※ 文章表現入門 日本語 I 日本語 II 日本語総合演習B 日本語会話 日本語表現 | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 笹井 恵子(44) | 平成28年4月 | 心理学 総合演習a 総合演習b | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 高垣 英夫(64) | 平成28年4月 | 基礎体育A 基礎体育B 生涯スポーツA 生涯スポーツB 身体管理論 スポーツ管理論 | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 中澄 孝司(64) | 平成28年4月 | 基礎体育A 基礎体育B 身体運動科学 生涯スポーツA 生涯スポーツB フィットネス実習A フィットネス実習B スポーツ指導論 | | | | | | |
| 兼担 | 准教授 | 姜 若冰(46) | 平成28年4月 | 文学 中国語 I 中国語 II 日本語 I 日本語 II 中国語総合演習A 中国語総合演習B 中国語会話 中国語コミュニケーション演習 | | | | | | |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|-----|-----------------|---------|---|------------|----|----|--------|---------|----|
| 専任・兼担・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼担・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 兼担 | 准教授 | フィリップ・フラヴィン(55) | 平成28年4月 | Intensive English L/S I Intensive English L/S II 日本文化論 多文化共生社会論※ Comparative Culture Advanced English L/S I Advanced English L/S II | | | | | | |
| 兼担 | 助教 | 谷花 佳介(41) | 平成30年4月 | アメリカ経済論 | | | | | | |
| 兼担 | 助教 | 藤村 佳子(34) | 平成28年4月 | 経営学概論 経営管理概論 | | | | | | |
| 兼担 | 助教 | 林 英一(31) | 平成28年4月 | 文章表現入門 日本近現代史 河内学※ 日本史概論 I 日本史概論 II | | | | | | |
| 兼担 | 助教 | 乾 順子(43) | 平成28年4月 | 社会学 統計学 I 統計学 II 現代社会学 ジェンダー論 | | | | | | |
| 兼担 | 助教 | 勝 健真(34) | 平成28年4月 | 基礎体育A 基礎体育B スポーツ論 生涯スポーツA 生涯スポーツB | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 梶川 伸(68) | 平成28年4月 | 文章表現入門 マスコミ論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 勝 英雄(67) | 平成28年4月 | 生涯スポーツA 生涯スポーツB フィットネス実習A フィットネス実習B | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 前田 晴人(66) | 平成28年4月 | 日本史 河内学※ | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 堀内泰紀(67) | 平成28年4月 | 文章表現入門 芸術学 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 池田良徳(66) | 平成28年4月 | 現代社会と観光※ 海運と港湾 日本の水産業と世界の水産業 資源・エネルギー論 クルーズ・ビジネス論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 姜信和(49) | 平成28年4月 | 地域文化論 総合演習a 総合演習b 比較文化論※ | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 田原 護立(68) | 平成29年4月 | 総合演習a 総合演習b グローバル化とメディア | | | | | | |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|----|------------|---------|--|------------|-----------|------------|---------|----------------------------|--|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 兼任 | 講師 | 上野 裕 (63) | 平成28年4月 | 現代社会と観光※ | | | | | 現代社会と観光※ | 平成28年4月兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更。後任は科目開設年度である平成29年度開始までに決定する(28) |
| | | | | 地理学 | 兼任 | 講師 | 堀内 千加 (38) | 平成28年4月 | 地理学 | |
| | | | | 都市計画の国際比較 | | | | 後任未定 | | |
| 兼任 | 講師 | 西口 善規 (63) | 平成28年4月 | トレーニング演習A トレーニング演習B | 兼任 兼任 | 講師 准教授 | | | 平成28年4月法学部専任採用(国際学部兼任)(28) | |
| 兼任 | 講師 | 石川 靖之 (53) | 平成30年4月 | メディアと広告 プレゼンテーション実践 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 杉林 弘仁 (55) | 平成29年4月 | 流通システム論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 矢島 正枝 (67) | 平成30年4月 | 航空実務 ホスピタリティ論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 河野 公洋 (52) | 平成29年4月 | マーケティング論 貿易商務論 国際取引と法(契約と決済) 国際取引と法(紛争処理) | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 崎山 博教 (44) | 平成30年4月 | 国際ビジネスと知的財産 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 加藤 靖弘 (64) | 平成28年4月 | Intensive English W/R I | 兼任 | 講師 | 岡崎 臣博 (60) | 平成28年4月 | Intensive English W/R I | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加。兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(28) |
| | | | | Intensive English W/R II | 兼任 | 講師 | 藤木 隆義 (69) | 平成28年4月 | Intensive English W/R II | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加。兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(28) |
| | | | | 翻訳実践 貿易英語 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 東 千代子 (33) | 平成28年4月 | Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 柳田 亮吾 (33) | 平成28年4月 | 言語学 異文化コミュニケーション | | | | | | |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|----|-------------------|---------|--|------------|----|--------------|---------|---|--|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 兼任 | 講師 | 福田 泰子(36) | 平成28年4月 | Intensive English W/R I Intensive English W/R II Advanced English W/R I Advanced English W/R II | 兼任 | 講師 | デイヴィス 恵美(41) | 平成28年4月 | Intensive English W/R I Intensive English W/R II | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加。兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(28) |
| 兼任 | 講師 | グレン・マイケル・ブラウン(52) | 平成30年4月 | Regional Studies (Oceania) Business Communication I Business Communication II | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 中尾 恭三(37) | 平成28年4月 | 世界史概論 I ※ 世界史概論 II ※ 西洋史 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 北西 正人(36) | 平成29年4月 | 社会思想史 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ヒェラルド コルナトウスキ(36) | 平成29年4月 | Japanese Society Japanese Geography 政治地理学 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 竹井 夏生(41) | 平成28年4月 | 心理学 社会心理学 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 李 良子(61) | 平成28年4月 | 心とからだの病理学 医療ビジネス論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 大野 勝好(66) | 平成28年4月 | 国際キャリア開発A 国際キャリア開発B | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 太田 結花(56) | 平成29年4月 | 国際キャリアデザイン演習A 国際キャリアデザイン演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 大島 淑恵(54) | 平成29年4月 | 国際キャリアデザイン演習A 国際キャリアデザイン演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 笠田 真由美(51) | 平成29年4月 | 国際キャリアデザイン演習A 国際キャリアデザイン演習B 国際キャリア演習A 国際キャリア演習B | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 斐 龍(51) | 平成28年4月 | 海外インターンシップ | | | | | | |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|----|--------------------|---------|--|------------|----------|----|--------|---------|------------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 兼任 | 講師 | 鳥羽 美鈴(41) | 平成29年4月 | ヨーロッパ史 現代ヨーロッパ事情 Regional Studies (Europe) | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | エドワード シュルツ(72) | 平成29年4月 | Japanese History | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 田中 慎吾(37) | 平成29年4月 | アメリカ史 現代アメリカ事情 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 菅瀬 晶子(45) | 平成29年4月 | 宗教学 現代中東事情 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 鈴木 真弥(41) | 平成30年4月 | Regional Studies (Asia) | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 明戸 隆浩(41) | 平成30年4月 | Regional Studies (America) | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 金森 康(43) | 平成29年4月 | NPO・NGO論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 鏡 竜太郎(41) | 平成30年4月 | ディベート実践 ビジネス交渉 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | エセックス マイケル アラン(29) | 平成28年4月 | Intensive English L/S I Intensive English L/S II Advanced English L/S I Advanced English L/S II | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | ロー デュエーン エドワード(46) | 平成28年4月 | Intensive English L/S I Intensive English L/S II Advanced English L/S I Advanced English L/S II | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | デイヴィス 恵美(40) | 平成28年4月 | Advanced English W/R I Advanced English W/R II Exam Prep. III Business Management | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 石本 東生(56) | 平成30年4月 | 国際観光論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 国宗浩三(54) | 平成30年4月 | 東南アジア経済論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 木下 英雄(53) | 平成30年4月 | 中国経済論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 朴 永炅(50) | 平成28年4月 | 現代社会と健康 | 兼任 兼任 | 講師 教授 | | | | 平成28年4月 教養部専任採用(国際学部 兼任)(28) |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|----|------------|---------|---|------------|----|----------|---------|---------|----------------------------------|
| 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼任・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 兼任 | 講師 | 山下 丈夫(52) | 平成28年4月 | ロシア語 I ロシア語 II ロシア語総合演習A ロシア語総合演習B | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 岸 優子(61) | 平成28年4月 | 現代社会と教育 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 桑原 武志(63) | 平成28年4月 | 考古学 文化人類学 河内学※ | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 森 征樹(45) | 平成28年4月 | 日本国憲法 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 佐々木 雅一(69) | 平成28年4月 | 環境論※ 環境と経営 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 田嶋 香織(43) | 平成28年4月 | 日本語 I 日本語 II 日本語総合演習A 日本語総合演習B 日本語会話 日本語表現 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 安倉 良二(44) | 平成28年4月 | 河内学※ | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 養父 志乃夫(59) | 平成29年4月 | 環境保全論※ | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 仲島 淳子(45) | 平成28年4月 | 韓国語 I 韓国語 II 韓国語会話 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 山田 智貴(51) | 平成29年4月 | 地球と環境 環境と海洋 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 尹 銀哲(39) | 平成28年4月 | 日本語 II | 兼任 | 教授 | 呉 紅敏(44) | 平成28年4月 | 日本語 II | 平成28年4月兼任教員の委嘱辞退により、科目担当者を変更(28) |
| 兼任 | 講師 | 黒田 進(64) | 平成28年4月 | 生涯スポーツA 生涯スポーツB | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 森下 泰行(67) | 平成28年4月 | トレーニング演習A トレーニング演習B 健康科学論 | | | | | | |
| 兼任 | 講師 | 廣本 寿夫(57) | 平成29年4月 | ビジネスリテラシー | | | | | | |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|-----|-------------|---------|-----------------|------------|----|----|--------|--|--------------------------------------|
| 専任・兼担・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼担・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| 兼任 | 講師 | 竹内 俊隆 (65) | 平成29年4月 | 現代中国事情 国際関係論 | | | | | | |
| 兼担 | 教授 | 朴 永炅 (50) | 平成28年4月 | | | | | | 基礎体育A 基礎体育B 生涯スポーツA 生涯スポーツB 身体管理論 スポーツ管理論 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 兼担 | 教授 | 金 成秀 (62) | 平成28年4月 | | | | | | 日本語表現 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 兼担 | 教授 | 森榮 徹 (64) | 平成28年4月 | | | | | | マスコミ論 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 兼担 | 教授 | 呉 紅敏 (43) | 平成28年4月 | | | | | | 日本語表現 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 兼担 | 准教授 | 姜 若冰 (46) | 平成28年4月 | | | | | | 日本語表現 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 兼担 | 准教授 | 吉川 真理子 (53) | 平成28年4月 | | | | | | Intensive English W/R I | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 兼担 | 准教授 | 本多 善 (31) | 平成28年4月 | | | | | | Intensive English W/R II | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 兼担 | 准教授 | 渡邊 浩一 (34) | 平成28年4月 | | | | | | 文章表現入門 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| 兼担 | 助教 | 勝 健真 (34) | 平成28年4月 | | | | | | スポーツ指導論 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |

| 設置時 | | | | | 変更状況 | | | | | |
|------------|----|----|--------|---------|------------|----|------------|---------|---|--------------------------------------|
| 専任・兼担・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 専任・兼担・兼任の別 | 職名 | 氏名 | 就任予定年月 | 担当授業科目名 | 備考 |
| | | | | | 兼担 | 助教 | 林 英一(31) | 平成28年4月 | 日本史 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| | | | | | 兼担 | 助教 | 石田 友梨(35) | 平成28年4月 | 地域文化論 総合演習a 総合演習b 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語会話 日本語表現 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| | | | | | 兼任 | 教授 | 山根 共行(67) | 平成28年4月 | 文章表現入門 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 仲本 早紀(25) | 平成28年4月 | 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語会話 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 高月 喜美(56) | 平成28年4月 | 日本語Ⅱ | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 榎原 実香(25) | 平成28年4月 | 日本語Ⅱ | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 仲島 淳子(45) | 平成28年4月 | 現代日本事情 日本語会話 日本語表現 | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |
| | | | | | 兼任 | 講師 | 松原 万里子(53) | 平成28年4月 | Exam Prep. I Exam Prep. II | 平成28年4月履修者数に応じてクラス数を増加し、科目担当者を追加(28) |

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

| 設置時の計画 | | | | | 現在(報告書提出時)の状況 | | | | | 現在(報告書提出時)の完成年度時の計画 | | | | |
|--------|-----|-----|-----|------|---------------|-----|----|----|------|---------------------|-------|-------|-------|-------|
| 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計(A) | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計(B) |
| 8 | 6 | 0 | 2 | 16 | 9 | 6 | 0 | 1 | 16 | 9 | 6 | 0 | 1 | 16 |
| (9) | (6) | (0) | (1) | (16) | | | | | | [0] | [0] | [0] | [0] | [0] |

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2) - ② 年齢構成

| 年齢構成 | | |
|-------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 定年規定の定める定年年齢(歳) | 報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 | 完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数 |
| 教授 67歳 准教授・講師・助教 65歳 | 1名 | 3名 |

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 就任辞退（未就任）の理由 | |
|------------|----|--------|--------------------------|--------|-----------|--------------|-----------|
| - | - | - | - | - | - | - | |
| - | - | - | - | - | - | - | |
| - | - | - | - | - | - | - | |
| - | - | - | - | - | - | - | |
| 合計 (A) | | | 後任補充状況の集計 (B) | | | | |
| 就任を辞退した教員数 | | | 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) | | ①の合計数 (a) | ②の合計数 (b) | ③の合計数 (c) |
| 0 | 人 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 |
| | | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 |
| | | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 |
| | | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 |

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

| 番号 | 職位 | 専任教員氏名 | 必修・選択・自由の別 | 担当予定科目 | 後任補充状況 | 辞任等の理由 | |
|---------|----|--------|--------------------------|--------|-----------|-----------|-----------|
| - | - | - | - | - | - | - | |
| - | - | - | - | - | - | - | |
| - | - | - | - | - | - | - | |
| - | - | - | - | - | - | - | |
| 合計 (C) | | | 後任補充状況の集計 (D) | | | | |
| 辞任した教員数 | | | 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) | | ①の合計数 (a) | ②の合計数 (b) | ③の合計数 (c) |
| 0 | 人 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 |
| | | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 |
| | | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 |
| | | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 |

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

| 合計 (A) + (C) | | | 後任補充状況の集計 (B) + (D) | | | | |
|--------------|--------------------------|----|---------------------|-----------|-----------|---|----|
| 辞任等した教員数 | 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) | | ①の合計数 (a) | ②の合計数 (b) | ③の合計数 (c) | | |
| 0 | 人 | 必修 | 0 | 科目 | 必修 | 0 | 科目 |
| | | 選択 | 0 | 科目 | 選択 | 0 | 科目 |
| | | 自由 | 0 | 科目 | 自由 | 0 | 科目 |
| | | 計 | 0 | 科目 | 計 | 0 | 科目 |

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|--|
| |
|--|

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

6 留意事項等に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | 履 行 状 況 | 未履行事項についての実施計画 |
|--------------------|--|--|----------------|
| 設 置 時 (平成27年8月) | <p>「留学・体験科目」について、本科目を通じて本学部で学生が習得すべき能力として挙げられている「国際協働力」を習得するために、下記のことについて十分に留意し、計画を着実に実施すること。</p> <p>(1) 「留学・体験科目」を通して異文化理解を深め、コミュニケーション力、国際協働力を育むために、事前に現地語の学修を十分に行わせること。</p> <p>(2) 海外で学修を行うに当たり学生に不安が生じたり、学修に支障が生じたりすることのないよう、学生の安全面への配慮や現地でのサポート体制を充実させるとともに、内容を学生に広く周知すること。</p> | <p>(1) 「留学・体験科目」の実施にあたっては、渡航前に、派遣国の現地で通用している言葉、社会事情と風習などに関する事前学修を行い、異文化理解を深め、コミュニケーション力、国際協働力を育むための準備を行う。</p> <p>(2) 海外での学修について学生に不安が生じたり、学修に支障が生じたりすることのないよう、事前学修及びオリエンテーションを実施する。また、海外協定校等の担当者と緊密に連携をとり学生の安全に配慮する。事前学修とオリエンテーションでは、海外でのサポート体制について周知し、安全確保と緊急時対応のための研修を行う。さらに、海外での学修及び生活に必要な注意事項等をまとめたハンドブックを参加者全員に配布し、その内容を広く周知する。</p> | |
| | <p>キャリア形成科目群の中で科目名称に「国際」を冠する6科目について、教育内容として「異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイル（海外事例）の理解」を掲げるのであれば、現地語についての理解も必要と考えられるので、現地語について触れる内容となっているか検証し、必要に応じて修正すること。また、1年次に「留学・体験科目」を履修し異文化について興味を持った学生が、本科目群により発展的に異文化理解の学修を進められるよう内容を検討すること。</p> | <p>キャリア形成科目群の中で、科目名称に「国際」を冠する6科目については、異文化理解と多文化共生を踏まえたワークスタイル（海外事例）を理解するため、グローバルな舞台で活躍する実務家による講演などを行い、各国・地域の文化や慣習、現地語について触れる内容となっている。また、1年次に「留学・体験科目」を履修し、異文化に興味を持った学生が、より発展的に学修を進めることができるよう2年次以降の内容をさらに検討する。</p> | |

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<国際学部 国際学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--------|------------------|
| | 変更なし |

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

国際学部国際学科においては、全学的な組織である大学教育開発支援センターのもと、教員相互の授業参観、学生による授業評価アンケート、FD研修などの活動を実施している。また、国際学部教授会のもとに国際学部FD・カリキュラム検討委員会を置き、カリキュラムの改善充実、授業改善など教員の資質の維持向上に向けた取組を行っている。

〔設置委員会〕

大学教育開発支援センター運営会議、大学教育開発支援センター会議
国際学部FD・カリキュラム検討委員会

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

〔大学教育開発支援センター〕

大学教育開発支援センターは、平成27年度、センター運営会議を1回、センター会議を4回開催した。平成28年度は、4月20日に第1回センター運営会議を実施し、以後、平成27年度と同程度の開催を予定している。

○大学教育開発支援センター運営会議構成員 (平成28年度)

大学教育開発支援センター所長兼教務部副部長、大学教育開発支援センター所長補佐 (2名)

教務部長、国際学部長、経済学部長、法学部長、教養部長、経済学研究科長

教務部長補佐兼国際学部FD・カリキュラム検討委員会委員長兼学習支援センター長

経済学部カリキュラムFD委員会委員長兼経済学研究科FD委員会委員長

法学部長補佐兼法学部FDカリキュラム検討委員会委員長

教養部FD・カリキュラム検討委員会委員長兼情報科学センター長代理 (以上教員)

大学教育開発支援センター事務長兼教務課長、大学教育開発支援センター所員

○大学教育開発支援センター会議構成員 (平成28年度)

大学教育開発支援センター所長兼教務部副部長、大学教育開発支援センター所長補佐 (2名)

教務部長、教務部長補佐兼国際学部FD・カリキュラム検討委員会委員長兼学習支援センター長

経済学部カリキュラムFD委員会委員長、法学部FDカリキュラム検討委員会委員長

教養部FD・カリキュラム検討委員会委員長兼情報科学センター長代理 (以上教員)

大学教育開発支援センター事務長兼教務課長、大学教育開発支援センター所員

〔国際学部FD・カリキュラム検討委員会〕

国際学部FD・カリキュラム検討委員会は、平成28年度は、4月20日に第1回委員会、4月27日に第2回委員会を開催した。年間、10回程度の開催を予定している。

○国際学部FD・カリキュラム検討委員会

国際学部長、国際学部長補佐、国際学部FD・カリキュラム検討委員会委員長ほか、専任教員12名で構成。

c 委員会の審議事項等

〔大学教育開発支援センター〕

- 1) 教育の可視化（教員相互の授業参観、学生による授業評価アンケート、授業改善報告書等）
- 2) 教育活動支援（新任教員研修、FD研修等）

〔国際学部FD・カリキュラム検討委員会〕

- 1) 教育活動の企画・開発に関すること
- 2) 教育内容及び教育方法の検証・改善に関すること
- 3) 学科目担当者に関すること
- 4) キャリア教育、就職支援に関すること

② 実施状況

a 実施内容

〔国際学部FD・カリキュラム検討委員会〕

- ・平成28年度FD活動に関する計画の検討（第1回国際学部FD・カリキュラム検討委員会）

〔大学教育開発支援センター〕

- ・平成28年度FD活動に関する計画の報告

b 実施方法（予定）

〔大学教育開発支援センター〕〔国際学部FD・カリキュラム検討委員会〕

（1）教育の可視化

- 1) 教員相互の授業参観
 - ・専任教員が参観を希望する授業を申告し、参観。実施後に報告書を提出。
- 2) 学生による授業評価アンケート
 - ・講義、外国語科目等を対象に実施。
- 3) 授業改善報告書
 - ・教員は学生による授業評価アンケートの結果を踏まえて、授業改善報告書を作成し提出。
- 4) FD実践状況調査
 - ・講義科目を中心に授業の実地調査を実施。
 - ・大学教育開発支援センター所員、教務課職員が各教室を巡回し、受講生の着席状況等を調査。
- 5) 授業改善中間フィードバック
 - ・授業期間の途中でコメントシートを用いて学生の意見を収集し、授業改善に活用。

（2）教育活動支援

- 1) 新任教員研修
 - ・新任の専任教員、客員教員、非専任教員を対象に、就任前の研修を実施。
 - ・本学のFDに関する取組の紹介、授業実践研修等。
- 2) FD研修
 - ・全専任教員を対象とする全体集合研修を実施。
 - ・外部講師の招聘や授業実践事例の報告等。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（前掲）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学教育開発支援センターが、国際学部FD・カリキュラム検討委員会等と連携をとりつつ、授業改善、教員の資質の維持向上のための取組を計画的に実施する予定である。

具体的には、前掲のとおり、教員相互の授業参観、学生による授業評価アンケート、FD研修会などを計画しているが、学年進行に合わせて、さらにその強化をはかる予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・すべての講義科目を対象に実施予定

○前期：平成28年7月

○後期：平成28年12月

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員は学生による授業評価アンケート結果を踏まえて、授業改善報告書を作成し提出。
- ・学生による授業評価アンケート結果と授業改善報告書を学内ポータルサイトに掲載。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学国際学部国際学科は、異文化理解と多文化共生を育み、豊かな国際感覚と優れたコミュニケーション能力を身につけるとともに、幅広い教養と専門性を備え、チームワークとリーダーシップをもって、国際的なビジネス・市民社会で活躍できる人材の養成を目指し、当初の設置計画どおり、1年次に履修する設置科目を開講し教育研究活動を実施している。

平成28年度入学生については、授業開始に先立ち、全新生を対象に、新入生キャンプを4月6～7日の日程で開催した。その場を活用して、1年次演習(「基礎演習」)担当教員(アドバイザー)、クラス担当職員(キャンパスアドバイザー)、クラス担当上級生(スチューデントアシスタント、平成28年度については留学経験のある他学部生)とともに、クラスミーティングを行い、春学期の学修計画を立てるため、履修指導を行った。この履修指導を踏まえて、①1年次必修科目である「基礎演習A」、「基礎演習B」及び「留学・体験科目」、②1年次必修の英語運用能力を向上させる科目である「Intensive English W/RI」、「Intensive English W/RII」、「Intensive English L/SI」、「Intensive English L/SII」、③ICT利活用能力を身につけるための「情報リテラシーI」、「情報リテラシーII」、④学生の生涯を通じた持続的な就業力の育成をめざした「国際キャリア開発A」、「国際キャリア開発B」等を中心に、全員が履修登録を完了させ学修を開始したところである。

また、国際学部設置にあたり計画した図書を購入・配架、専用教室及び演習室を計画どおり整備した。加えて、国際学部教員が選書した英語の専門書を購入・配架する予定である。

開設直後であるために国際学部の現状に関して詳細な評価は難しいが、入学した学生はいずれも学修意欲が旺盛であり、教員もこの熱意に応えるべく学修指導に邁進しているところである。今後も、設置計画に基づき、国際学部における教育研究の充実に向け、国際学部FD・カリキュラム検討委員会を中心に、授業改善など教育の充実に取り組み、さらにその水準の向上を目指すものとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成27年度版自己点検評価書を平成28年5月に公表する予定である。

b 公表方法

- ・自己点検評価書を刊行し、大学ホームページ上に公開する。

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に(財)日本高等教育評価機構において受審し、平成23年3月25日付けで、「(財)日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。認定期間は、平成22年4月1日から平成29年3月31日までの7年間である。平成26年6月30日理事会決議に基づき、平成28年に、(財)日本高等教育評価機構の評価を受けるために、学内で準備を進めている。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成28年 6月頃予定)